

南魚沼市民病院

認知症疾患医療センター

南魚沼市民病院の理念

私たちは、自然のうるおいの中で人それぞれの希望に満ちたくらしを支え地域医療を推進します

基本方針

- 1 市民の安全・安心を支える医療を提供します。
- 2 患者さん中心のチーム医療を推進します。
- 3 健康増進を目指し、予防医療の充実を図ります。
- 4 確かな知識と技術を有する心豊かな医療人を育成します。
- 5 良質な医療を継続するため、経営の健全化に努めます。

南魚沼市民病院認知症疾患医療センター
〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町 2643 番地 1
電話: 025-788-1222 (代表)
電話: 025-772-2604 (直通)
FAX: 025-772-2603



新年のごあいさつ

精神科医、神経内科医、脳外科医でなく認知症科医を目指して
認知症疾患医療センター長 宮永和夫



現在、全国では400カ所以上の認知症疾患医療センターがありますが、新潟県は新潟市の2つを合わせて9カ所にあります。基本的な業務は、認知症に関わる相談を受けることと診断です。当院では、診断とともに治療やカウンセリングを行っています。これは必要な条件ではないようです。しかし、相談と診断のみとしても、治療をせずにかかりつけ医に逆紹介することは、大きな都市部では可能と思いますが、地方では困難を伴います。特に魚沼医療圏には開業医が少なく、多くの患者さんを抱えて多忙な診療の中、時間が必要な認知症の人を見て頂くのは難しいようです。その結果、当センターに受診を続けられる方が多くなり、初診の枠が多く取れず、診察までに1カ月から2カ月程度お待たせするという状況になっています。但し、実際には緊急のケースの場合があり、予約外で診察することもあります。それでも多くの患者さんをお待たせすることに変わりありません。

最近の診断後の対応は4つに分かれます。MCI（認知症予備軍）や程度が軽度の認知症の方の場合は、生活指導の上、状況により3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月のいずれかの後に再度受診して頂き、進行の有無を調べて、変化ある場合にのみ治療を開始します。程度が中等度の認知症の方の場合は、精神症状や行動障害があるなしにかかわらず、症状が軽減ないし安定するまで当院で通院や入院医療を継続して頂きます。また、重度な身体疾患を合併している場合も当院の内科などと併診して頂いています。ただ、記憶障害のみが強いものの、目立った行動障害（夜間不眠・せん妄、無断外出、妄想）が見られない場合は、かかりつけ医や近くの診療所に紹介することにしております。程度が重度の認知症の方や全介護状態の場合は、当院内科の往診医にお願いし、「人生の最終段階」を看取るまで関わって頂いています。

私もセンタースタッフも、認知症への対応はがんと同様に緩和医療と考えています。具体的には、同じ多職種のスタッフが初診時から「人生の最終段階」まで関わることを意味します。出来るだけ長い期間、外来や入院でお付き合いを続けさせて頂きたいと思っていますので宜しくお願いいたします。なお、外来患者が多くなり、受診時間や日時などに不都合なことが生じているかもしれませんが、その際は遠慮なくご要望をお伝え頂きたいと思っております。



市民講演会(報告)

昨年10月にコミュニティーホールさわらびで市民講演会を開きました。当日はあいにくの雨天でしたが、市民100人余りが参加しました。テーマは「高齢期の元気を支える体づくりと認知症予防」。岩手保健医療大学の勝野とわ子さんから話を聞きました。勝野さんはアメリカで認知症者専門のデイケアセンターに勤務して以来、認知症者のご家族へのより良いケアサービス提供を目指し、教育、研究、実践に取り組んでいる方です。今回は「高齢期の健康状態の現状と将来」「認知症の現状と認知症のリスクファクターと予防法」「認知症者の理解と対応」の3点についてわかりやすく教えていただきました。認知症予防から今後の認知症施策のあり方など考えさせられる内容でした。ホールではオレンジカフェを開催し多くの人でにぎわいました。今後もためになって楽しい講演会を計画していきたいと思えます。

高齢になる前の
中年からの
予防が大切!

認知症のリスク
ファクターは…



心の健康のための活動例「ことばを声にして遊ぶ」
実際にやってみましょう! 「ことばとあそぼ」
(西村正平) より ♪がぎぐげ、ごぎぐげ…



当事者の願いは、“病気の
理解と親身なサポート”
です。

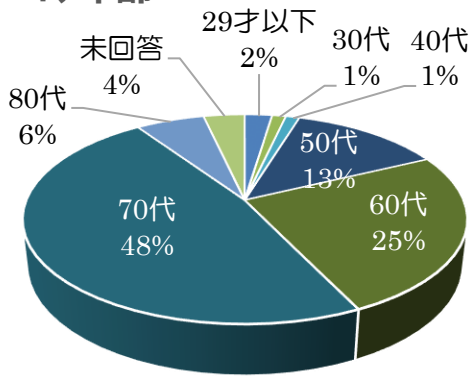


オレンジカフェの貝瀬さん
と山口さん
大盛況でした!

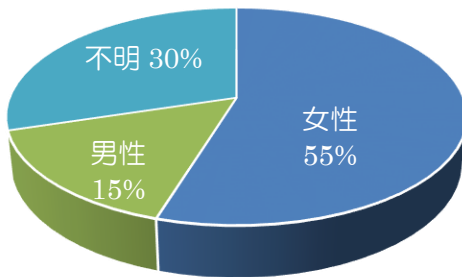




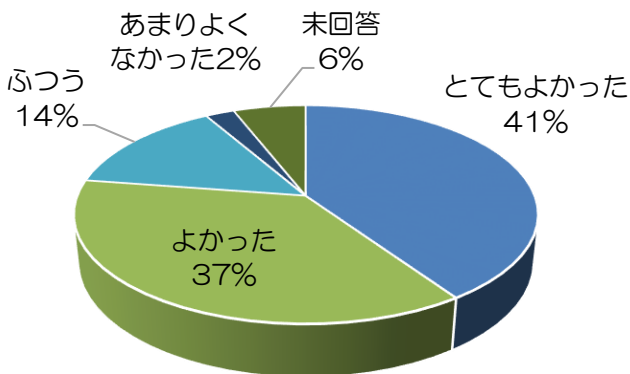
1、年齢



2、性別



3、講演会はいかがでしたか

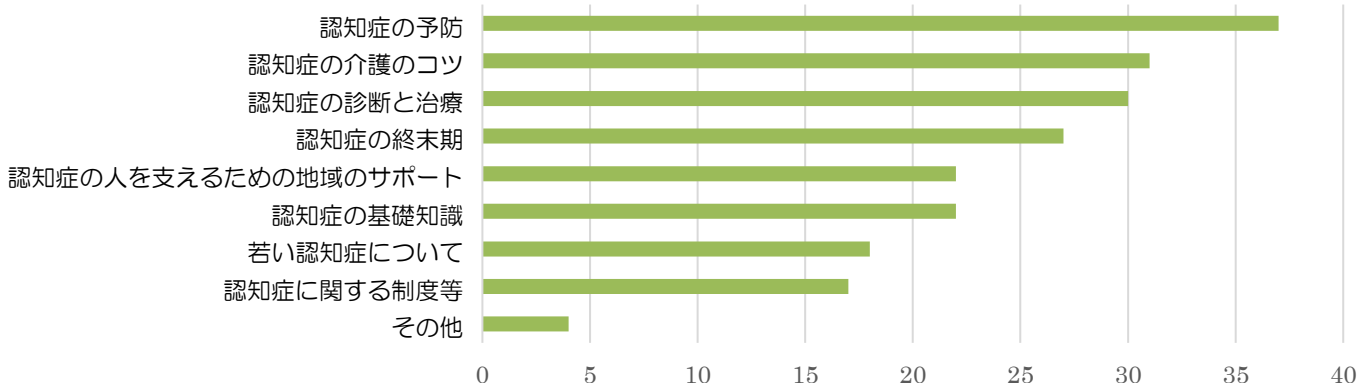


まとめ

- ・当日は 115 人が参加しました。認知症に関する講演の受講歴を聞いたところ、「初めて」52%、「2回目以降」48%と半々でした。
- ・年齢では 60 代、70 代の女性が全体の 4 割を占めていました。
- ・講演の感想を聞いたところ「とても良かった」「よかった」と答えた人は合わせて 78%でした。
- ・意見としては、横文字はわかりにくいのでできるだけ日本語がよい、もう少し身近な話をききたい等がありました。
- ・今後、希望する講演会の内容としては、予防、介護のコツ、診断・治療の順に多くなっています。昨年の結果と異なり、終末期への関心が高まっていました。
- ・その他には、コミュニケーション技術、認知症とのつきあいかた、家族支援について等がありました。



4、今後どのような内容の講演会を希望しますか



感想や意見（抜粋）

- ・一般の方にもわかりやすい資料、説明でよかったです。（50代女性）
- ・体操と食事が大切ということに改めて気づきました。友達が認知症になり不安がっている。どうしてあげればよいか少しわかったような気がする（70代女性）
- ・認知症の方の気持ち、思いがよくわかりました。（60代女性）
- ・病気の方でも持っている能力がある。それを引き出す。決めつけないようにしたい。個性を大切にしたい。オレンジカフェはよかったです。（60代女性）
- ・介護者、看護者向けの内容も多くありましたが一般市民としては認知症にならないための「個」の部分についてもっと詳しくお話をお聞きしたかったです。（60代女性）
- ・もう少し身近な話を聞きたかった。（70代女性）
- ・認知症について基礎がわからない。今日の講演は知識のある人への一歩踏み込んだお話のように感じて思っていた内容と違った。こういった講演があるならば一から勉強したいと思いました。（50代女性）

ご意見ありがとうございました。

市民病院で…

「院内デイケア」はじめました

平成30年11月から、南魚沼市民病院に入院中の認知症の方などを対象に、療養生活の活性化を図ることを目的に週1回デイケアを開いています。楽しくて脳に良いメニューを提供中です。



12月の作品



みなさん！
楽しくやりましょうねー



臨床心理士の長沼さん

